

## 自覚をもって学習するのに役立つのは古典と新聞

開倫塾

塾長 林 明夫

1. 明けましておめでとうございます。開倫塾塾長の林明夫です。今年も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 年末の先週は、自覚をもって勉強することの大切さを少しお話させていただきました。その中で、自覚をもつためには古典との対話をするとよい。そうすると、自分自身のことがよくわかったり、自分の考えを深めたりすることに非常に役に立つという話をさせていただきました。今日は、その続きの話を少しさせていただきます。
3. 古典とは何かというと、日本や世界の人々が何十年も何百年も読み継いだ本のことであると私は考えます。学校で学ぶすべての教科書には、教科ごとに古典と呼ばれる素晴らしい本の内容やその作者が紹介されています。私がお勧めするのは、教科書で紹介されている本・学校やそのほかのいろいろなところの先生方が授業などで「この人は素晴らしいよ」と紹介してくれた人の本を学校の図書室や市町の図書館で手に取って実際に読んでみることです。また、お正月なのでお年玉を貰う方もいると思いますので、お金に余裕のある方は本屋さんで古典と呼ばれる本を買い求め、自分の本として読んでいただければと思います。古典は今だけでなく、人生を通して繰り返し繰り返し読める本ですので、是非とも手元に自分の気に入った本を1冊か2冊置いていただきたいと思います。
4. 私がお勧めする古典は、先週もお話した、孔子の教えを弟子たちがまとめた「論語」です。また、ファラデーの書いた「ろうそくの科学」という本も素晴らしいです。科学をもっともっと深く勉強したい方には是非お勧めします。歴史の好きな人には、シュリーマンの「古代への情熱」がお勧めです。これもとても有名な本です。伝記と言いますか、その人の一生を書いた本の中で一番面白いのは、福澤諭吉が書いた「福翁自伝」であると思います。これも素晴らしい本です。人生を考える上で為になる本は、講演速記録をまとめた本として非常に読みやすい内村鑑三の「代表的日本人」です。これは素晴らしい本です。また、自分が死んだ後に後の世に何が遺せるのか・人は何のために生きるのかが書かれた「後世への最大遺物・デンマルク国の話」という本も素晴らしいです。小説で面白いのは、夏目漱石の作品ですね。エッセイとしては、吉田兼好の「徒然草」、松尾芭蕉の「奥の細道」、能を極めた世阿弥の「花伝書」、宮本武蔵の「五輪書」などもとても素晴らしいです。私はこれらの本が古典として好きです。これらは、中学生や高校生のときに学校の先生方から教科書を通じて紹介された本の作品や作者ばかりですが、とても面白く、また、人生にとっても

役に立ちます。ですから、このような本を数多く、1回だけでなく5回も6回もゆっくりと読んでいただき、自分とは何か？人生とは何か？ということ深く考えて、自覚を深めていただければと思います。

5. では、読書以外で自覚をもって学習するのに役に立つものは何か。私は、新聞を挙げたいと思います。新聞を読むと、自分で考える力、批判的思考能力が身に着くからです。極端な言い方すると、新聞は社会の番犬(watch dog)です。社会に問題があれば犬のようにワンワンと吠えて、「ここに問題があるよ。」と問題の所在を社会に知らせることが新聞の社会的使命(mission 役割)とされています。暮れからお正月にかけての新聞には、今までの日本・これからの日本・今までの世界・これからの社会などについてのこと、また、栃木県・地元についてのことが、新聞記者の方々の丹念な取材の上でよくまとめられています。ですから、できれば暮れからお正月にかけての新聞を1ページから最終ページまで丹念になめるように読み、地域や日本、世界では、今何が起きているのか・今の世の中の問題は何なのか・この世の中は近い将来どのようなようになるのか・地域や日本、世界が知恵を絞って解決しなければならない課題とは何かなどについて是非知っていただきたいと思います。その中で、「このようにいろいろなことがあるけれども、自分はこのような生き方をして、社会の問題の解決に少しでも役に立ちたい。」と、自分自身の人生を考えていただきたいと思います。一人の人ができることは限られていますが、一人ひとりが自分の人生・家族のために何ができるかを考えるのと同じように、地域や日本、世界のために少しでも役に立てるような生き方をすると考えれば、将来の問題も解決することができると思います。

6. 世界・日本・地域社会のために何ができるのかを深く考えながら自分の一生を考え、そのために今勉強するのだ、そのために高等学校に入学して勉強するのだ、大学に進学して勉強するのだと考えていただくと、自分の為に、家族の為に、社会に為になると思います。私は、これを以て「自覚をもって勉強する」ことだと考えます。古典や新聞を読んで世の中のことを知ったり、人生を考えたりしながら勉強してみてください。すると、自覚をもって勉強することができます。先週もお話したように、自覚をもてばもつほど長時間勉強しても苦になりませんし、学習の仕方も工夫するようになります。新年ですので、今年自分自身がこのように生きたい、家族の為にこのように生きたい、世の中の為になるような勉強をしたいといったことを考えながら勉強してみてください。

7. 自覚をもって勉強する人は、学力が非常に高いです。なぜならば、目的がはっきりとしているため、長時間勉強することができ、勉強の仕方を工夫することもできるからです。勉強する時間が長ければ長いほど、勉強の仕方を工夫すればするほど、学力が高くなりますよね。ですから、自覚をもって学習することを今年最初にお願いしたいと思います。皆様はどのようにお考えでしょうか。